

松戸市

保健師

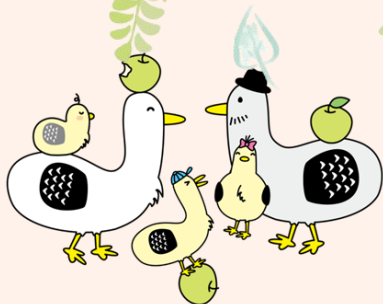
募集

松戸市役所は「松戸**市民**のために**役**立つ人のいる**所**」

市民にわかりやすく、利用しやすい市役所を目指しています。

約70名の保健師がさまざまな分野で活動しています。

市民の健康を一緒につくり、守りませんか？



保健師の主な配属先と施設

配属施設

中央保健福祉
センター



松戸市役所
(本庁舎)



小金保健福祉
センター

健康福社会館
(ふれあい22)
常盤平保健福祉
センター



市立総合医療
センター



松戸市紹介



松戸駅周辺



21世紀の森と広場

都心から20km圏内。豊かな自然を残しながら、首都圏のベッドタウンとして発展しています。

人口：502,374人（令和8年3月31日現在）
年間出生数：3,009人（令和7年度）
高齢者人口：128,992人（令和8年3月31日現在）
高齢化率：25.7%

主な配属先

松戸市役所本庁舎

人事課 医務室	職員の健康支援
健康医療政策課	感染症・災害医療対策
指導監査課	社会福祉法人の認可及び指導監査
高齢者支援課	高齢者の介護予防及び認知症対策
地域包括ケア推進課	地域包括支援センターの総合調整及び後方支援 →詳しくは7ページ
子ども未来応援課	地域の子育て支援

中央保健福祉センター

健康推進課	成人高齢者の健康づくり →詳しくは5ページ
健康推進課 健康診担当室	成人のがん検診、特定健康診査等に関すること
こども家庭センター	子ども家庭相談
こども家庭センター 母子保健担当室	母子の健康支援 →詳しくは3ページ

小金保健福祉センター

こども家庭センター 母子保健担当室	母子の健康支援 →詳しくは3ページ
-------------------	-------------------

健康福祉会館（ふれあい22）

こども発達センター	障がいや発達に心配のある方（お子さん）の支援
-----------	------------------------

常盤平保健福祉センター

こども家庭センター 母子保健担当室	母子の健康支援 →詳しくは3ページ
-------------------	-------------------

市立総合医療センター

総合医療センター 健康管理室	職員の健康支援
----------------	---------

統括保健師 紹介



川鍋統括保健師

【地域の特性を活かし、健康なまちづくりを推進する保健師になろう！】

松戸市には保健師活動指針や人材育成マニュアルが整備され、新任期から中堅期以降まで、目標に応じて成長できる体制があります。そのため、安心して働き続けられる環境の中で、職員一人ひとりがやりがいを感じながら、地域の健康づくりに取り組みます。定期的な面談に加え、先輩・上司と日常的に意見交換できる、風通しのよい職場です。

予防の視点を重視し、地域の声とデータの両面から健康課題を捉え、多職種と連携した取組みを進めています。統括保健師として、現場の声を大切にしながら、職員とともによりよい体制づくりに取り組み、地域の健康づくりを一層進めいきます。

松戸市で、ともに成長しながら地域の健康づくりに取り組んでみませんか？

親子を 支える 母子分野

こども家庭センター母子保健担当室

● 妊産、出産、子育て期までの切れ目のない支援 ● 子ども総合計画(母子保健計画包含)推進

母子分野 主な業務

相談

訪問

健診

教室

健康
教育

児童虐
待予防

母子健康手帳交付

昭和47年から保健師が面接を実施しています。全ての妊婦に親子すこやかプランを作成し、一人ひとりに合わせて妊娠・出産・子育て支援サービスを紹介します。相談に応じています。

松戸市親子すこやかプラン

松戸市では、お子さんの健やかな成長と子育てを支えるため、心、妊娠、出産、子育てを支えるための様々なサービスを行っています。

———道

妊娠・出産 から子育て期全盤相談

★保健福祉センター：保健師、栄養士、産科衛生士が、母子の健康や育児、産後ケアについての相談を受けています。

★親子すこやかセンター：保健師、社会福祉士、助産師が、妊娠中から母子保健・育児支援サービス等を利用できるよう相談を受けています。

名称	電話番号	〒	所在地
中央保健福祉センター	047-305-7489	271-	松戸市竹ヶ沓 74-3



乳児家庭全戸訪問

生後4か月を迎える前までの乳児のいる全ての家庭に保健師・助産師が訪問。体重測定や保護者の様々な相談に応じています。産婦にはEPDS（産後うつ質問票）に回答していただき支援につなげています。また、産科医療機関とも密に連携しています。



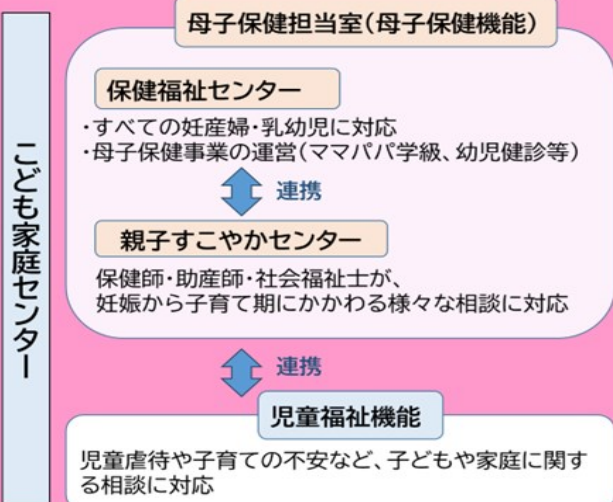
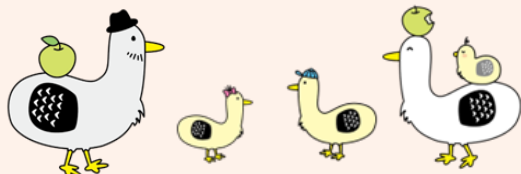
訪問時にはまつドリが描かれた袋とともに絵本をプレゼント！



組織体制

全国に先がけ、平成28年度保健福祉センター内に親子すこやかセンター、平成29年度に子ども家庭総合支援拠点を同一課内に設置しました。

令和5年度には、2つの機能（母子保健機能・児童福祉機能）を有したこども家庭センターを設置し、妊娠期から子育て期における一体的相談支援体制の強化を図り、児童虐待の予防・早期発見・早期対応をしています。



母子分野の若手職員



木村 保健師

2年目

こども家庭センター母子保健担当室所属
(中央保健福祉センター)

令和8.4.1現在



松戸市に入ったきっかけは？

私は松戸市で暮らしており、日々生活している中で、人のあたたかみを感じる市であると感じています。松戸市で暮らす方々が健康に過ごせるよう支援していきたい、安心して暮らせる街づくりに貢献したいと考え、松戸市役所に入りました。

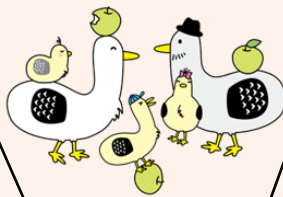


保健師になって良かったことは？

保健師はセンター内での業務もあれば、窓口業務、家庭訪問と、毎日の業務に変化があり、変化のある日々を私は楽しく感じています。また、市民とじっくりお話ができ、共に解決策を考える姿勢で支援することにやりがいを感じています。その子らしく成長していく様子を保護者と共に見守れることや、保護者から話してよかった、安心できた、というお言葉をいただいた時にはとてもうれしく思いました。

12:15～13:00 昼休み

センターに戻り、昼食をとります。私は、持参したお弁当を食べることが多いですが、お弁当を頼むこともできます。リラックスした時間を過ごし、午後の業務に備えます。



13:00～14:00 訪問記録

家庭訪問の様子を記録します。根拠をもってアセスメントし、次回の支援へ繋げます。必要時はカンファレンスを開催し、他職員と相談しながら支援の方向性を決めることもあります。

9:30～12:15 家庭訪問・移動

担当地区の妊婦や乳幼児がいる家庭に、自転車や公共交通機関を使って訪問します。訪問では、赤ちゃんの体重測定や保護者の育児の困りごとに耳を傾け、一緒に解決策を考えます。松戸市の母子保健サービスも紹介します。

14:00～16:00

幼児健康診査後の電話フォロー

幼児健康診査では、子どもの発育・発達を多職種で確認し、保護者の育児の相談に応じています。健康診査後も、電話や訪問にて、子どもの発育・発達を確認し、他機関への相談に繋げることもあります。保護者と共に子どもの成長を見守り、継続的に支援していきます。

9:00～9:30 訪問準備

訪問計画を立て、必要な資料や物品を準備します。センター在席時には、電話や窓口対応も並行して行います。

8:30～9:00 ミーティング

ミーティングでは、本日の事業やセンター職員のスケジュール、連絡事項を共有します。自分自身の今日1日の動きを確認します。

16:00 退勤

子育て中のため、部分休業制度を利用し、時短勤務をしています。子どもを迎えに行き、帰宅し、育児・家事を行います。子育てしながら働くことができる環境が整っていると感じています。

木村保健師
の
1日

市民の健康づくり

健康推進課

健康松戸21Ⅳ(健康増進計画)の推進

地域の健康づくり

成人分野 主な業務

健康
教育

健康
相談

健康推進
員育成

健診
検診

自殺
対策

フレイル
予防

健康教育・健康相談

地域に出向き、健康づくりに関する様々なテーマの講座を開催しています。

また、健康診査結果に基づく保健指導や禁煙相談などの個別支援を行っています。



健康推進員育成

地域の健康づくりを推進する人材である健康推進員の育成を行っています。

ウォーキングマップの作成や、各地区で開催されるイベント会場での普及啓発など、地域に根付いた活動ができるよう支援します。



まつど健康ハッピーフェスタ

市民の健康づくり推進する企業・団体である[健康松戸21応援団]と協働し、子どもから大人まで、楽しみながら健康づくりを体験できるイベントを毎年開催しています。



健康松戸21マスコットキャラクター「けあら」

地域保健分野の若手職員



仲 保健師

2年目

健康推進課所属

令和8. 4.1現在

松戸市に入ったきっかけは？

看護師として働いた経験から、生活習慣の重要性や病気の早期発見・早期治療の大切さを実感し、保健師を目指しました。自分が生まれ育った松戸市で、市民の方がいきいきと生活が送れるよう、健康の保持増進に貢献したいと思い、入庁を希望しました。

入庁者へのメッセージをお願いします

健康推進課での保健師としての活動は、電話や対面での健康相談、健康教育、生活習慣病の啓発など多岐にわたります。様々な健康相談や啓発内容で悩むこともありますが、先輩に相談しながら、丁寧に対応することを心がけています。地域の方々と信頼関係を築きながら、市民の健康づくりに関わることができ、とても充実しています。松戸市の保健師として、一緒に成長できたら嬉しいです。

12:15～13:00 昼休み

9:30～12:15

健康教育・振り返り・事務処理

依頼された地域住民の活動場所に出向き、生活習慣病などの健康教育を行います。地域の方と交流ができ、健康に関する情報を直接お話できる良い機会となっています。終了後は、職場に戻り、健康教育でよかった点や改善すべき点を振り返り、次の健康教育に繋げられるようにします。

8:30～9:30

朝礼・事務処理

朝礼では、本日の予定や連絡事項を共有します。メールチェックし、すぐに対応すべきことがないかを確認します。

13:00～15:00 家庭訪問

フレイル予防や継続支援が必要な方の家庭訪問をします。その人の生活背景を把握しながら、適切な助言ができるように心がけています。

15:00～15:30

啓発資料作成

市民の方が健康に過ごすことができるように、健康に関する正しい情報を啓発するための資料を作成します。

15:30～16:00

健康相談

電話や対面で健康に関する悩みをもった市民からのさまざまな相談に乗ります。悩みを少しでも解消できるように傾聴し、適切な助言ができるように心がけています。

16:00～17:00

保健師会議

業務の進捗状況の共有や課題などについて話し合い、さまざまな視点からアドバイスをもらいます。相談できる時間があるため安心して業務を行うことができます。

17:00 退勤

帰宅後はジムに行ったり、同期や友人と食事にとったりして、心も体もリフレッシュしています。

仲保健師
の
1日

高齢者を支える 高齢者分野

高齢者支援課・地域包括ケア推進課・指導監査課

- いきいき安心プランまつどⅧの推進
(高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)
- 生涯現役社会の実現・健康寿命の延伸
- 地域包括ケアシステムの深化・推進

高齢者部門

社会参加
就労支援

介護予防
認知症施策

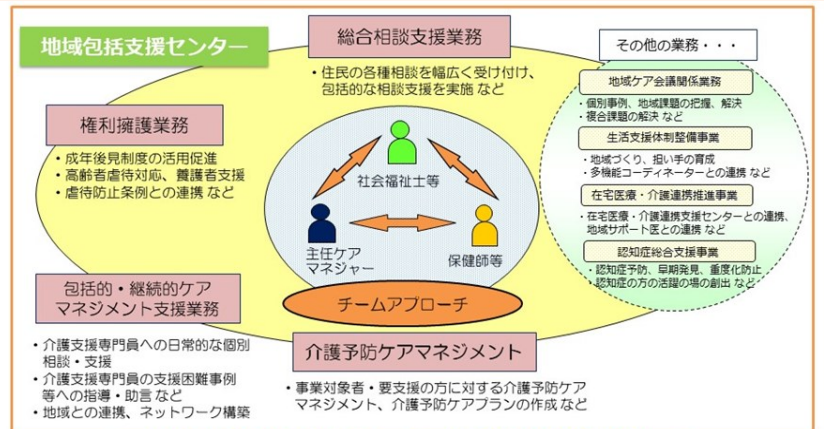
高齢者の
総合相談

在宅医療介護
連携推進

企画・
立案・進行管理

ケース支援・後方支援(総合相談)

市内には15か所に地域包括支援センター(委託)が設置され、住民の身近な場で高齢者の支援を行っています。可能な限り、住み慣れた自宅や地域で生活し続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を包括的に確保する体制を推進しています。市の保健師は、社会福祉士や主任介護支援専門員と共に担当地区の総合調整や後方支援を行っています。



地域ケア会議(地域づくり)

担当地区の地域関係者や事業者等との地域課題の共有・課題解決、地域づくりの構築を進めています。多機能コーディネーター(地域包括支援センターに配置)と共に、防災対策や助け合いなど地域住民の支えあい活動の実現に向けて、地域ケア会議や2層ワーキングを通して、一緒に活動をしています。

個別支援(高齢者虐待を含む)

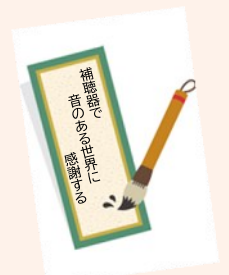
「老々介護」、「ダブルケア」、「8050問題」、「高齢者虐待」等、高齢者を取り巻く環境は困難化、複雑化しています。地域包括支援センターと共に担当地区のケースの進捗確認を行い、必要に応じて家庭訪問や関係機関の調整などを行っています。



松戸市虐待防止推進キャラクター「ハートはと」

介護予防・認知症施策(企画・推進)

高齢化の進展を見据え、介護予防や認知症施策等を推進しています。地域の統計や現場の声をもとに健康課題を整理し、既存事業の評価・改善や新規事業の企画・立案を行います。必要に応じて庁内外の関係機関や事務職等と連携しながら進め、市民の健康づくりに直結する取り組みを展開しています。



令和7年度から始まった「聞こえの支援事業」では、補聴器購入費助成を受けた方から川柳を募集し、生活の改善や喜びの声が寄せられています。

こうした市民の声も活かしながら、啓発の促進や加齢性難聴予防を進め、高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりに取り組んでいます。

また、個別の支援にとどまらず、地域や関係機関とともに、市全体で高齢者を支える体制づくりを進めています。



あんしん一歩運動キャラクター「オレンジ協力員」

高齢者分野の若手職員



山田 保健師

4年目

地域包括ケア推進課所属

松戸市に入ったきっかけは？

令和8. 3.31現在

もともと民間の健診センターで保健師として働いていましたが、より地域住民の方の健康増進に携わりたいと思い、市町村保健師を志すようになりました。

そのような中で保健師として自分が住む松戸市を、より住みやすい街にしていきたいと考え、松戸市の保健師を希望しました。

やりがいは？

地域包括支援センターの後方支援という立場ではありますが、ADLの低下や認知症によって生活に困っていた高齢者の方が、適切な支援につながって、その人らしい生活を送っている事を確認できた時、やりがいを感じます。また、地域づくり活動の一環で、定期的に担当地区のごみ拾い活動に参加しており、市民の方と一緒に地区を良くしていく事に、充実感があります。



業務体制

地域の特性に応じた活動を推進するため、各分野においては業務分担制と地区分担制を併用しています。本市においても法改正の影響などにより保健師の分散配置が進み、直接的な市民への保健サービスだけではなく、政策への積極的な関与や、障がい、虐待などに関する福祉分野での活動にかかわるなど、その役割は広がってきています。

松戸市保健師連携推進会議

庁内の管理職保健師により構成される「松戸市保健師連携推進会議」を開催し、災害時保健医療活動や糖尿病対策等、包括的な地域保健体制の構築に向けた取り組みを推進しています。

人材育成・研修制度

松戸市では、新規採用職員に、入庁半年間はトレーナーと呼ばれる先輩職員が各職場で1対1につき、OJTシートにより各業務の習熟度を確認しながら育成を行います。仕事のことはもちろん、社会人の先輩としていろいろな相談もできるので安心です。

専門的能力の育成のためには、「新任保健師育成プログラム」により採用年度から3年間、スタッフ全員が協力して新任保健師育成に当たります。また、「松戸市における保健師の活動指針」により、松戸市の保健師活動の変遷や現状、今後の保健師としての活動の方向性について共通認識を図っています。さらに、「松戸市保健師現任教育マニュアル」を基に、OJT（職場内研修）、OFF-JT（職場外研修）、自己啓発、ジョブローテーションを4本の柱として、新任期、中堅期、管理期において保健活動到達状況チェックリストを活用し、保健師の活動領域ごとに求められる能力の獲得に向けて、業務を行っています。

研修については、庁内の「公務員倫理」「財政・会計」等の行政職員としての研修の他、専門職として、千葉県主催の階層別研修や外部研修等への参加を通して必要な能力・技術を習得できます。

松戸市職員採用情報ページ

<https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/soumu-saiyou/syokuinsaiyou/index.html>

